

Introduction to Career Planning (1)

2 units (compulsory)

Tokuichi Tanaka · DESIGNATED ASSOCIATE PROFESSOR, 学年担任, Part-time Lecturer

Target) 技術者を取巻く今日の社会環境について講義し、技術者を目指す新入生諸君が自立的で有意義な学生生活を構築するとともに将来の就職について考える上で必要な素養と能力を養う。また web 版キャリア学習ポートフォリオの作成を開始する。

Outline) まず特任教員により、授業ガイダンスおよび web 版キャリア学習ポートフォリオの意義と作成方法に関する説明がある。次いで、特任教員、各学科関連教員および非常勤講師等が、順次、工学、技術者、企業、社会等ならびにそれらの関係に関する講義を行う。また受講者はそれらを踏まえて自らの夢を描くとともに技術者としてのライフプランを作成する。第 8,12,15 回の授業時にそれぞれレポート課題が出される。なお各回の学習内容の要点等は web 版キャリア学習ポートフォリオに記入し、授業終了後に学科教員のチェックを受ける。

Keyword) キャリア学習ポートフォリオ, 社会人基礎力, 技術者, 社会, 企業, ライフプラン

Relational Lecture) “[Introduction to Career Planning \(2\)](#)”(1.0), “[Career Planning \(1\)](#)”(0.5), “[Career Planning \(2\)](#)”(0.5), “[Career Planning \(3\)](#)”(0.5), “[Vocational Guidance](#)”(0.5), “[Introduction to New Business](#)”(0.5), “[Engineering Ethics](#)”(0.5)

Requirement) 特になし。

Notice) 必ず出席し、レポート提出は期限厳守のこと。キャリア学習ポートフォリオを継続的に作成すること。毎回授業の最後に 10 分間程度で授業内容に関するショートレポートを作成し、授業後にそのショートレポートに基づいて Web 版キャリア学習ポートフォリオに記入する。なお授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をした上で授業を受けることが、授業の理解と単位修得のために必要である。

Goal) 技術者と社会の係わりについて理解するとともに、キャリア学習ポートフォリオ作成を通して自らのキャリアプランを自主的に進めることができる。

Schedule)

1. ガイダンス
2. キャリア学習ポートフォリオ利用法
3. 社会人基礎力とは
4. 新聞を使って「考え抜く力」を養う
5. ビジネスコミュニケーション

6. 技術者の倫理
7. 技術者と企業
8. 企業の使命/レポート 1
9. 社会の仕組み
10. 企業を取り巻く環境の変化 (1)
11. 企業を取り巻く環境の変化 (2)
12. 企業とその戦略/レポート 2
13. 技術者としての先輩の夢を聞こう
14. 技術者としての自らの夢を語ろう
15. 技術者としてのライフプランを作ろう/レポート 3

Evaluation Criteria) 到達目標の達成度を、3 回分のレポートとキャリア学習ポートフォリオの進捗状況により評価する。各レポート評点 (70 点満点) の平均点とポートフォリオ評点 (30 点満点) の合計が 60 点以上を合格とする。

Textbook) 特に指定しない。

Reference) 授業中に適宜プリント等配布する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219839>

Student) Able to be taken by night course student of same department

Contact)

- ⇒ Tanaka (t.tanaka@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ 学年担任
- ⇒ 教務委員会委員長
- ⇒ 学務係長
- ⇒ Nariyuki (A510, +81-88-656-7326, nariyuki@ce.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)
- ⇒ Hirai (2116, +81-88-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 授業を受ける際には、2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。